

製品名: MCM7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13728**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	81kDa

抗原情報

遺伝子名	MCM7
別名	MCM7; CDC47; MCM2; DNA replication licensing factor MCM7; CDC47 homolog; P1.1-MCM3
遺伝子 ID	4176.0
SwissProt ID	P33993
免疫原	抗血清はヒト MCM7 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 491-540

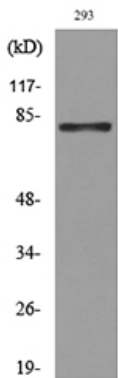
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物ゲノム複製の開始に必須である、高度に保存されたミニ染色体維持タンパク質 (MCM) の一つです。MCM タンパク質によって形成される六量体タンパク質複合体は、複製前複合体 (pre_RC) の重要な構成要素であり、複製フォークの形成や他の DNA 複製関連タンパク質のリクルートメントに関与している可能性があります。このタンパク質と MCM2、4、および 6 タンパク質からなる MCM 複合体は DNA ヘリカーゼ活性を有し、DNA 巻き戻し酵素として作用する可能性があります。サイクリン D1 依存性キナーゼである CDK4 はこのタンパク質と会合することが分かっており、腫瘍抑制タンパク質 RB1/RB との結合を制御している可能性があります。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 細胞周期ごとに DNA が 1 回の複製を行えるようにする因子として機能します。DNA 複製と細胞増殖に必要です。UV 誘導性損傷時の S 期チェックポイント活性化に必要。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。類似性: MCM ファミリーに属する。類似性: 1 つの MCM ドメインを含む。サブユニット: ATR-ATRIP 複合体および RAD17 と相互作用する。TIPIN と相互作用する。、

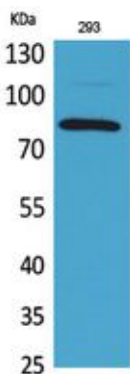
研究分野

DNA 複製;細胞周期 G1S;細胞周期 G2M_DNA;

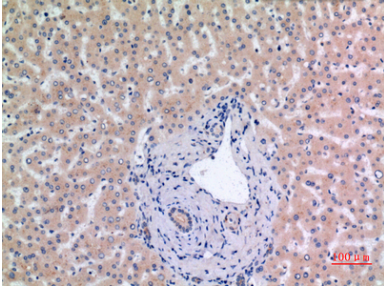
画像データ



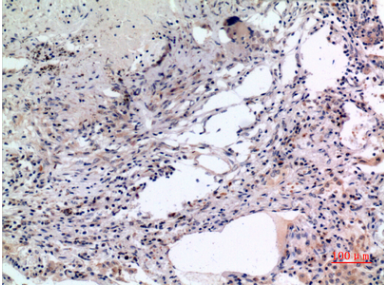
MCM7 抗体を使用した 293 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



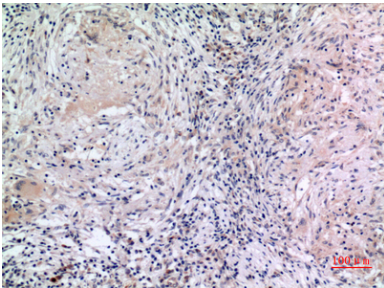
MCM7 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された